

2020年 8月 16日 《平和祈念礼拝》

主 日 礼 拝

①8時半 ②10時半 ③13時半 ④19時

司 会 石井 秀人兄

奏 楽

祈 禱 松岡 清枝姉

賛 美 聖歌560番 & ～心が疲れた時～

平和の祈り

聖 書 ヘブル人への手紙4章12～16節

特別賛美

メッセージ 「共に神の安息に入りましょう！」

石井 潤 牧師

献 金 聖歌453番 & ～栄光イエスにあれ～

祝 禱

お知らせ [司会者]

賛 美 ～平和はじめて知った～

礼拝にお越しくださった皆様を心よりご歓迎いたします！
《今週のお知らせ》

★本日は「平和祈念礼拝」を行います。平和のために共に祈りましょう！

☆今週の祈り会は、○早天祈祷会：月曜朝6時。○木曜祈祷会：10時半・19時半（大和の祈祷会の映像を用います）。○準備祈祷会：土曜夜8時。

★来週の日曜礼拝も4回行います。暑い中です、健康が守られますように！

☆一年に一回聖書を完読できる！ Bible Reading Plan [8/16- /23]

Date	日	月	火	水	木	金	土	日
聖書	詩篇110 -118章	119: 1-88	119: 89-176	120- 133章	134- 141章	142- 150章	使徒 1-2章	3- 5章
チェック	〇〇〇〇〇 〇〇〇〇	〇	〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇 〇〇〇〇	〇〇〇〇〇 〇〇〇〇	〇〇	〇〇〇

「共に神の安息に入りましょう！」

～福音を信仰によって受け入れる大切さ～

「もし私たちが、最初キリストを信じた時の確信をしっかりと持ち続けるなら、私たちはキリストの御国の祝福にあずかることができる。」 ヘブル人への手紙3章14節 [現代訳]

昨日で終戦75年を迎えました。本日は平和のために共に祈ることができることを感謝致します！「平和」の対義語は「戦争」ですが、戦争のない状況がイコール平和であるとは言えないと感じます。今回のコロナの問題も、戦争ではありませんが、この出来事によって、私たちの生活が平和でないことは容易に分かります。あなたが考える「平和」とは何でしょうか？周りの環境が平和であることでしょうか？それ以上に、私たち自身の心が平和であること、平安であることこそが真の平和ではないかと思うのです。たとえ、戦争の真っ只中であっても、私たちの心が平安であればその状況を乗り越えることができます。たとえ、私たちの命が損なわれることとなったとしても、そこに心の平安があればその死をも乗り越えることができます。そこから分かりますように、最も大切な事は、私たち自身の心をいかにしたら平安に保てるか？ということだと思えます。

イスラエル人たちは全能の神、創造主なる神に選ばれた民族として聖書に描かれていますが、選ばれたにも関わらず、その神の恵みを十分に体験することができませんでした。なぜなら、神の御心に素直に従うことができなかったからです。神様は、放縦させるお方ではなく、きちんと正しい道へと人々を導こうとします。しかし、イスラエル人たちはその神の方法を拒んでいきます。その結果、神の恵みを味わうどころか、ますます、混乱と苦難の道へと突き進んでしまいます。これはまさに、私たち人類の縮図ではないでしょうか？自分の力で何でもできる。努力さえすれば、自分自身で道を切り開いていくことができると、どこまでも自分自身を信じているのです。「だから、彼らが安息の地に入ることができなかったのは、彼らの不信仰のためだったことが分る(ヘブル3章19節：現代訳)」。

「あなたがたの心を頑なにしてはならない」と神様は私たちに何度も警告されています。神の前に自分自身を投げ出し、任せないと神様ご自身が働くことができない。信じるとはそういうことであると。私たちを命を懸けて愛してくださった、主イエス様の愛に感動し、応答し、信じるということです。約束の地に入ったヨシュアも地理的には神の示された地に入りましたが、まだ実際には誰もイエス様を除いては約束の地に足を踏み入れてはいないのです。新約のヨシュアであるイエス(旧約のヨシュアと同じ名前)様がまず、約束の地に入って、私たちの来るのを待っておられます。「だから、私たちは神のあわれみを受け、恵みを頂いて、時宜にかなった助けを受けるために、確信をもってこの恵みの神に近付こうではないか(ヘブル4章16節：現代訳)」。イエス様は求める者に、誰にも奪われることのない、揺るがない心の平安をくださいます。このお方を信じて進んでいきましょう！